

令和 7 年度事業計画書

- 1, 法人本部
- 2, 若草園（生活介護）
- 3, 若草工房（就労継続支援 B 型）
- 4, わかば（生活介護・共生型通所介護）
- 5, 地域生活室（短期入所・共同生活援助・居宅介護事業・相談支援事業）

令和7年度 社会福祉法人若草会 法人本部 事業計画

基本方針	事業計画 (Plan)		
	項目	内容 (数値・実施時期等)	
事業基盤の強化	稼働率 (数値目標) 及び予算執行、財務管理	・引き続き、公認会計士による財務会計に係る点検等を毎月行い、安定的な財務基盤の確立に努める ・会計に関する十分な体制の整備 (法人事務局) ・引き続き、稼働率向上や各種加算による収益改善計画の数値化、経費の継続的な見直しを進める ・サービス費収入及び事業支出等について、各事業所での確認を促す	通年
	建物、設備等の計画的なメンテナンス	・6年度、助成金申請を行っている国庫補助金 (大規模修繕) に関して、採択がされる見込みであるので、最終決定がなされた場合を想定し、しかるべき準備を早急に進めて行く ・各拠点における維持管理を安心、安全なサービス提供の視点に立ち、修繕計画を検討する。各種補助金を活用しながら効率的に修繕等を進めて行く ・設備、備品の契約については、費用対効果を分析しリース等のも視野に入れながら適正な管理を行う。	通年
	人材確保	法人が目指す職員像に基づき、サービスと法人運営の質の低下をきたさないよう、採用担当職員と各事業職員とが連携しながら次の取り組みを実践する ・積極的な情報発信 ・企業合同説明会、就職フェアへの参加 ・就活サイトへの登録、各種学校訪問等による学生動向への対応 ・学校及び公的機関との繋がり強化 ・ダイバーシティの推進による多様な雇用対策 ・各種実習、ボランティア受け入れによる職業理解等の熟成 ・リファラル (内部紹介) 採用の活用	通年
	中長期計画の実施、検証	・第2次中長期計画の実施状況の検証を行い、適切に進めて行く	通年
	5S活動の実施	・整理・整頓・清潔・清掃・習慣を引き続き法人全体で実施し、快適な職場環境、安全性の確保、業務の効率化を図り、各事業所の環境を整備していく	通年
	コンプライアンスの徹底及びガバナンスの強化	・各種関係法令はもとより、法人の理念や諸規定さらには大きな意味での社会的ルールやモラルを遵守した運営を行なう。 ・コンプライアンス教育として研修を実施することと、各種規程等の勉強会を実施していく	通年
	各種委員会、各種会議の運営	引き続き各種委員会及び会議について内容及び参加者の見直しを行いながら活性化出来るよう運営し、法人全体に活動内容の共有や検討の機会を設ける	通年

職員の質の向上	人材育成・定着	法人理念等と連動した利用者サービスの向上と職員のスキルアップが図れるよう、引き続き全体研修、階層別研修などを継続し、社会的規範やコンプライアンスの意識向上も強化する。 ・常勤、非常勤問わず採用時研修を確実に実施する ・定期的な職員向けアンケートの実施を行い、効果的な面談実施に繋げる ・自己目標管理による成長意欲を喚起する機会を設ける	通年
	自己啓発の機会の確保	専門性の向上にむけた国家資格取得に対し、取得費用及び休暇等取得支援を継続していく	通年
	事業理解の促進	職員交流研修の継続実施及び年度末に各事業所報告会を実施、運営の共有を図る	通年
サービスの質の向上	各種実習生の受け入れ強化	各事業所における各種実習生（移動支援、介護福祉士、社会福祉士、看護、高校生実習など）を年間通して積極的に行い、利用者支援及びそれに関するマニュアル等見直しに繋げる	通年
	サービスの点検と改善	サービスの自己点検を行い、第三者機関による評価の受審を検討していく	通年
	リスクマネジメントの強化	会議やミーティング及びリスクマネジメント委員会を通して事故防止の検討の機会を設ける。BCPの周知及び研修、訓練の実施を継続していく。	通年
	高齢障害者等の支援の充実と将来の準備	・各事業の障害特性に応じた支援を実施するとともに、それに関する研修の受講や、関係諸機関との連携を図る。 ・現GH入居者の住みよい暮らしの検証を引き続き行い、増員、移転の必要性及び移転先の検討を行う。また新規GH開設について検討を行う。	通年
社会参加 地域貢献	SDG s の取組み	・多様な関係機関と連携してSDGsの取り組みを行う。また、その関連のイベントや研修に参加をする ・廃油回収については3通所事業所で取組みを行う	通年
	各事業特性等を活用した貢献活動の推進	・こども食堂への食品寄贈を利用者の取り組みとして、東大阪市内複数の事業所と共に進める ・介護予防事業として使用する場を無料貸室として協力を行い、利用者と共に活動出来る機会にも繋げていく	通年
	福祉人材の養成	安価での移動支援従業者養成研修及び行動援護従業者養成研修の開催を継続する	通年

事業概要

生活介護事業 契約利用者数 57名（令和7年3月現在）

基本方針	事業計画（Plan）		
	項目	内容（数値・実施時期等）	
事業基盤の強化	業務改善	・業務の棚卸を行い、職員による業務量の偏りを減らす	通年
	安定した運営	・利用者6名が新事業所に移ることを機に利用日数増や新規利用者受け入れを検討する	通年
	5S活動の実施	・整理・整頓・清潔・清掃・習慣を意識した活動を実施し、業務の効率化、安全性の確保、快適な職場環境を実現する	通年
	各種書面の整理	・利用者情報、支援記録、個別支援計画等各種書面の整理を行い、不備がないか定期艇に確認する	通年
職員の質向上	専門性の向上	・専門機関への相談や見学による、強度行動障害の方への支援力強化 ・重度知的障害、身体障害がある方への専門的知識の向上（リハビリ、食事、健康配慮）	通年
	支援力の強化	・各種研修に参加し、内部共有を行うことで、全体の支援力を強化する	通年
	働きやすさの向上	・職員同士の対話の機会を設け、心理的安全性が確保された関係性を構築することで、意見が言いやすく働きやすい環境を作り、離職率の低下につなげる	通年
サービスの質向上	定期的なアセスメントの実施	・面談ごとにアセスメントの見直しを確実に行う	2回/年
	マニュアルの整備と周知	・支援マニュアル、虐待防止マニュアル等を整備し、職員間で周知徹底し、支援の統一を目指す	随時
	利用者理解を深める	・支援検討会議等を行い、内容を全体共有することで利用者理解を深め、支援の適正化を目指す	通年
社会参加 地域貢献	ボランティアの充実	・月1回土曜日を基本にボランティアを依頼する ・クラフトボランティアの実施を継続する	通年
	自主製品を通じて地域とつながる	・自主製品の取り組みを継続する ・販売を伴うイベントには積極的に参加し、利用者の社会参加を支援する	通年
	各種実習生の受け入れ	移動支援従業者養成研修、社会福祉士実習、デュアル実習などを積極的に受け入れる	通年

事業概要			
就労継続支援B型 契約利用者数 21名（令和7年3月現在）			
基本方針	事業計画（Plan）		
	項目	内容（数値・実施時期等）	
事業基盤の強化	安定した事業運営	・引き続き平均稼働率90%の達成 ・新規利用者の獲得（積極的な実習受け入れ及び施設見学会を適宜設定） ・工賃アップによる報酬単価増 ・業務を整理し、計画性のある収支管理、財政基盤の強化 ・職員の若返りを視野に入れながら、業務の整理を進め持続可能な事業運営を行なう	通年
	5S活動の実施	整理・整頓・清潔・清掃・習慣を意識した活動を実施し、業務の効率化、安全性の確保、快適な職場環境の実現を目指す	通年
職員の質の向上	専門性の強化	・就労全般に関する知識の習得、意識の向上 ・権利擁護意識の向上のため、施設内外研修の受講 ・利用者の特性に応じた支援を行うため、定期的な支援会議の実施 ・職員の接遇マナー向上	通年
	事務的機能の強化	・IT機器の適切な活用を行い、生産性の向上（残務軽減）を図る ・報告・連絡・相談を適宜行い、組織力強化に繋げていく ・職責に応じた役割分担の遂行（適切な権限委譲）	通年
サービスの質の向上	本人中心の支援	・利用者の自己決定支援として本人部会を開催し、話し合で事を進めて行くことを理解してもらえるよう支援する ・本人に応じた、将来の準備に向けた支援の展開 ・土曜日や祝日のイベント時等の開所を実施する ・福祉サービスの上手な活用を提案 ・工賃獲得の強化 ・高齢化対策、対応について検討及び準備を行う。（高齢福祉との連携強化）	通年
	余暇活動等、健康面の充実	・働くための体力作りと生活習慣病対策の実施 ・トレーニング機器を活用した体力づくりの実施 ・本人部会で決定した行事を担当利用者と共に実行 ・健康診断結果を家族と共有しながら、有効な活用を行う。 ・健康的に働ける環境調整に努める（感染症対策含む） ・PTと連携し、希望者へのリハビリ実施していく	通年
地域への貢献	地域ニーズに合った取り組みの展開	・地域の草刈り作業の受託や地域に根差した洗車作業を行い、地域の社会資源としての役割の遂行 ・地域ふれあい祭りの会場としてイベント開催を行い、地域の方々とのふれあいの機会と障害福祉の理解に繋げる	通年
	SDGsの取り組みとして（地域共生社会づくりに向けて）	・昨年に引き続き、地域の中で企業との連携やスポーツイベントに参加することで余剰食品を回収し、食の貧困を抱える子供たちが集うことも食堂へ食品寄贈を行う。 - また、運搬だけでなく仕組みづくり、企業とのコーディネートも行い東大阪モデル（若草会プロジェクト）として実施する ・新たに大型スーパーとの連携によるフードバンク事業開始予定	通年

事業概要			
生活介護介護事業 契約利用者数 53名（令和7年3月現在）			
基本方針	事業計画（Plan）		
	項目	内容（数値・実施時期等）	
事業基盤の強化	安定した事業運営	・業務の目的の整理・可視化・PDCAの実施を行い、業務の効率化を進め、生産性の向上に努める ・利用者・家族ニーズ等の情報収集を行い、支援内容の見直しを図りながら、継続的な利用者獲得を目指す ・施設設備の定期的な点検・メンテナンスを行い、運営の支障をきたすことのないよう施設の品質を維持する ・今年度定員増（30名→36名）による2拠点での事業運営の基盤づくりに努める	通年
	5S活動の実施	整理・整頓・清潔・清掃・習慣化を常に意識できるよう、毎月1回事業活動の取り組みとして、職場環境の整備を図る。	月1回
職員の質の向上	施設内研修の強化	・年度初めの全体研修の開催 ・半年に1回の常勤勉強会の実施 ・看護師による医療に関する勉強会の実施	年1回 年2回 年3回
	職員間のチームワーク構築	・昨年度に引き続き、職員茶話会の開催 ・各班との関係構築の強化による交流会の開催（体験） ・2拠点での支援協力と連携の強化	年1回 年2回 通年
	事業間の連携強化	・法人内の事業との情報共有を円滑化し、連携を深める ・法人外他事業所との見学や活動による交流の機会	通年 年3回
サービスの質の向上	健康管理	・健康診断の結果確認・体重管理・服薬管理等は看護師が、通院・往診等医療との連携は支援員も含め、相互で協力しながら利用者の変化に気づき対応できる能力を強化する	通年
	日中活動の充実	・昨年度の新たな活動の継続と充実化を図る ・活動後の振り返りと改善策の実施	通年
	定期的な支援内容の見直し・向上	・支援に必須な情報の整理と更新の強化	年2回
社会参加 地域への貢献	継続的なボランティアの受け入れと開拓	・現在受け入れしているボランティアは継続的に受け入れ、新たな活動として他事業との交流を深めた活動を実施する	通年
	事業所スペースの有効活用	・無料貸室の利用について、地域の方に向けてSNSやポスター等で発信を強化し、利用へ繋げる	通年
	地域のイベントの参加	・地域のイベントなどの情報収集を行い、積極的な社会参加と繋がりを通して新たな活動・支援内容の向上を目指す	通年

令和7年度 社会福祉法人若草会 短期入所事業 事業計画

事業概要			
年間のべ利用者数 1,513 名（令和7年3月末予定）			
基本方針	事業計画（Plan）		
	項目	内容（数値・実施時期等）	
事業基盤の強化	稼働率（数値目標）	新規利用相談に対応し、すでに利用している方に向けては利用の提案を行う 夜間帯事業職員間で連携し体制を整え、週末の利用受け入れの強化を図る	通年
	職場環境の整備	整理・整頓・清潔・清掃の習慣化を図り、業務の効率化、安全性の確保、快適な職場環境の実現を目指す	通年
	医療的ケア	通所看護師と連携し、医療的ケアが必要な方の利用に対応する	通年
職員の質の向上	業務の理解	ショートステイに求められていること、果たすべき役割を研修などを通じて理解する	通年
	情報共有	他事業と共通のフォーマットを使用しアセスメントを実施する	年1回
	リスクマネジメント	業務手順を遵守する 改善が必要なものは会議等を活用して見直しを図る。	通年
サービスの質の向上	利用者理解	日中事業所と定期的に利用者に対する情報共有の場を設け意見を交わすことにより理解を深める	通年
	個別支援の充実	障害特性に応じて環境や支援方法を検討し、支援マニュアルに反映する。また、可能な限り自宅での生活リズムに配慮する。	通年
地域への貢献	法人外利用者の受け入れ	適時対応する	通年
	緊急利用	適時対応する	通年

事業概要

わかくさ第一 契約利用者 6名 わかくさ第二 契約利用者 5名
 ひだまり 契約利用者 7名 (令和7年3月現在)

基本方針	事業計画 (Plan)		
	項目	内容 (数値・実施時期等)	
事業基盤の強化	定員拡大	GH全体で定員を18名(7名+6名+5名)から19名(4名+4名+6名+5名)に拡大する。	半年
	5S活動の実施	衣食住の視点で生活環境の見直し、または維持する	通年
	防災	定期的に避難訓練を実施する。 備蓄品の随時補充及び内容の見直し。また、室内環境を見直し災害に備える	各GH 年2回
	職員定着	新たに勤務する職員を中心に上司との相談の機会を確保するなどフォローアップを強化する 職員間の承認機会の設定するなどやりがいを持って働き続けられるようマネジメントを強化する	通年
	健康状態の把握	体調不調の早期発見に繋げるため、健康面の知識を習得する機会を設定し、観察力向上に努める 適時医療機関と連携し対応する	通年
職員の質の向上	マニュアル	マニュアルを見直し、不慣れな職員でも一定の業務が行えるよう伝達等に活用する	通年
	知識の獲得	権利擁護、生活支援を中心に勉強会を開催する	年6回
サービスの 質の向上	情報共有	使用するツール(line、Googleなど)を整理し、細かな情報も漏れなく情報共有する	通年
	イベントの実施	季節に応じたイベントの実施。誕生日会の開催	年4回
地域への貢献	自治会への参加	自治会当番を担う自治会清掃への参加	通年

令和7年度 社会福祉法人若草会 居宅介護事業 アンサンブル 事業計画

事業概要			
家事援助、通院等介助、身体介護、行動援護、移動支援 契約利用者数 83 名 （令和7年3月現在）			
基本方針	事業計画（Plan）		
	項目	内容（数値・実施時期等）	
事業基盤の強化	稼働率（数値目標）	居宅介護・行動援護・移動支援併せた月平均240h	通年
	人材確保・定着のための魅力発信	ヘルパーから聞き取った支援をインスタで月1回以上発信の継続（#ヘルパーのつぶやき）	1回以上/月
	5S活動の実施	整理・整頓・清潔・清掃の習慣化を図り、業務の効率化、安全性の確保、快適な職場環境の実現を目指す	通年
	人材確保	実習生、職員や職員知人等へ啓発（随時）を行う 適時求人掲載を行う	通年
	人材育成・定着	支援同行による丁寧な育成を行う 承認や賞賛(良い支援姿勢が見られた時や利用者やご家族から聞かれた声をヘルパーに伝える)。	通年
職員の質の向上	事業間の連携	複数事業に関与している職員に活動依頼する際、その職員の勤務を管理をしている事業管理者への確認や連携により、オーバーワークを防ぐ	通年
	各種委員会への参加	法人設置の委員会へ参画し、各分野の理解を深める	通年
	関係機関との連携	複数事業利用している利用者のタイムリーな情報共有	通年
サービスの質の向上	障害特性に応じた支援の充実	ヘルパー勉強会の実施（年2回以上） 法人内部研修への参加促し	2回以上/年
	利用者満足	利用者やヘルパーへ外出先情報を発信	2回以上/年
	福祉有償運送の継続	福祉有償運送の利用が必要な方への継続的な運行	通年
地域への貢献	福祉人材の養成	法人開催の従業者養成研修（移動支援・行動援護）への関与	通年

令和7年度 社会福祉法人若草会 相談支援事業 あいん 事業計画

事業概要			
契約利用者数		72 名（令和7年3月現在）	
基本方針	事業計画（Plan）		
	項目	内容（数値・実施時期等）	
事業基盤の強化	計画及びモニタリング	業務効率化を図り、計画及びモニタリング件数を増やす（月平均30件）	通年
	5S活動の実施	整理・整頓・清潔・清掃・習慣を意識した活動を実施し、業務の効率化、安全性の確保、快適な職場環境の実現を目指す	通年
職員の質の向上	しあわせおすそわけ	定期ミーティングにて、業務上得た前向きな思いを共有する機会を設定する	月1回
	研修報告	外部研修で得た情報を定期ミーティングにて共有する	月1回
サービスの質の向上	GSVへの参加	GSVへの参加継続し、職員育成を図る	通年
	ケース会議	事業を跨いだケース会議の開催（サービス担当者会議含む）	年6回
	社会資源情報の整理	得た社会資源情報をデータにて管理する	通年
地域への貢献	法人外で開催される会議への参加	法人外で開催される会議等に（自立支援協議会を中心に）積極参加し、様々な機関、近隣住民との関係を深める	通年
	要支援者避難者の個別避難計画	該当者の個別避難計画の整備	通年